

## 車新田地区まちづくり構想説明会を開催しました！

桜の便りも聞かれるようになり、春らしくなってきましたが、皆さまお元気にお過ごしでしょうか。

去る 3 月 5 日（月）、弥富市産業会館において、「車新田地区まちづくり構想説明会」を開催しました。当日は、お忙しい中、多くの方に出席いただき、誠にありがとうございました。

昨年 3 月 22 日に開催した第 5 回車新田地区まちづくり勉強会で、出席された多くの方から、今後のまちづくりについて、たたき台となる具体的なプランを提示して欲しいとの提案がございました。

この結果を受け、昨年 6 月から「車新田地区まちづくり構想」の検討を行い、本年 1 月には、この構想案について世話人会で意見交換を行いました。今回の説明会は、世話人会と協働して作成した「車新田地区まちづくり構想」をご説明するとともに、今後のまちづくりの進め方について皆様と意見交換するため開催したものです。



## 車新田地区まちづくり構想説明会の概要

■開催日時：平成 30 年 3 月 5 日（月）午後 7 時 30 分～

■開催場所：弥富市産業会館 2 階 大会議室

■参加者：23 名

■内 容：

①これまでの取組みについて

- ・平成 27 年度からの取組みについて説明しました。

②まちづくりの進め方(案)と進捗状況について

- ・車新田地区のまちづくりの進め方と進捗状況、土地区画整理事業の概要等について説明しました。

③まちづくり計画(たたき台案)について

- ・まちづくり計画（たたき台案）を基に、計画内容、総事業費、平均減歩率等を説明しました。

④意見交換

- ・上記の内容について参加された皆様と話し合いました。

⑤その他(来年度以降の進め方について)

- ・来年度以降の進め方についての市の考え方を説明しました。



## ■ 説明会で出された主な質問や意見

- 今回提示された事業費に、「業務代行方式に係る事務費は含まれているのですか？」という事業費に対する質問がありました。
- 「保留地をどこに計画しているのか？」というまちづくり計画（たたき台案）に対する質問がありました。
- 「国道1号、都市計画道路向陽通線、都市計画道路穂波通線の買収・整備費は、区画整理事業費の中から支出するのですか？」という事業費に対する質問がありました。
- 「水田、畑をどうしてもやりたい場合、どこに水田、畑を計画してくれるのか？その場合、水の手当をどの様に考えているのか？」という質問があり、営農をご希望される方もいました。
- まちづくり計画（たたき台案）どおり、まちづくりを進めて市街化区域編入してもメリット感じず、現状のままだ良いという意見もありました。
- 業務代行方式の詳細な内容、メリット・デメリットについて説明を求められ、本方式に興味を示される方がいました。

## ■ 業務代行方式とは

今回の説明会では、車新田地区のまちづくりを進めるにあたっては、「組合土地区画整理事業」が適していること、その場合、組合・権利者の皆さんの負担や不安を大きく減らすためには、『業務代行方式の導入』が望まれることをご説明させていただきました。

今後皆様の総意が得られれば、業務代行方式の導入に向けて、より具体的な検討を進めて参ります。

### 業務代行方式とは・・・

組合運営に関する業務その他の土地区画整理事業の施行に関する業務の相当部分を民間企業が代行する方式のことをいいます。

### なぜ業務代行者が必要？・・・

保留地の処分や資金の調達等皆様の不安を解消するとともに、民間の豊富な経験・ノウハウを活かすことで円滑に事業を進めることができます。



## ■ 平成 30 年度の予定について

弥富市では今後人口が減少していくことが見込まれており、車新田地区において、**皆様の大切な財産である農地や宅地等を有効にご活用していただくための新しいまちづくりを進めていくことができる最後の機会**と考えております。

こうした状況の中、**皆様の総意がなければ、車新田地区のまちづくりを進めていくことができません。**そこで、平成 30 年度は、今回の説明会の内容等をもとに、車新田地区のまちづくりを今後も引き続き検討していくかについての意向調査を実施したいと考えています。今後の車新田地区のまちづくりの方向性を左右する非常に大切な調査になりますので、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

